



■ 地域経済活性化への取り組み



「沖縄子どもの未来県民会議」への寄付金贈呈について



子どもの学びと育ちを社会全体で支え、貧困問題・雇用対策促進・進学支援など、沖縄の子どもの未来に係る沖縄県の取り組み「沖縄子どもの未来県民会議」へ、琉球銀行で販売している投資信託商品「グローバルESGバランスファンド」の収益より一部拠出し100万円の寄付を行いました。



りゅうぎん紅型デザインコンテスト／りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業

伝統文化支援事業として、紅型デザインの向上を図る「創造的な場」を紅型作家や愛好家に提供することを目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。入賞作品は、当行がお客様に配布するカレンダーや通帳、広告物等に幅広く活用されており、今回、株式会社リウボウインダストリー様（代表取締役社長 糸数剛一）が販売する「首里城最中」の商品パッケージのデザインとして、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」の入賞作品が採用されました。

また、琉球銀行創立70周年の記念事業として、2019年度より600年以上の歴史がある漆芸の技術の伝承を支援することを目的に「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を実施しています。

今後も沖縄の伝統文化の伝承に貢献できるよう、積極的に支援活動を展開していきます。



第30回りゅうぎん紅型デザインコンテスト 表彰式



楽園百貨店「首里城最中」

■ 地域社会および職場における平等の確保



特別協賛寄付金贈呈／りゅうぎんユイマール助成会

地域国際化協会として総務省から認可を受け、国際交流推進事業を実施している「公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団」へ「新型コロナウイルス禍における在住外国人の生活支援事業」に活用いただくため、特別協賛として寄付金を贈呈しました。

また、毎年、役職員に募金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成している「りゅうぎんユイマール助成会」では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、これまでの助成件数・金額は1,254件、2億2,946万円となりました。（2021年9月30日現在）



寄付金贈呈式



「りゅうぎんユイマール助成金一般公募」贈呈式

SDGs への取り組み



ウェアラブルデバイスの貸与について



健康経営の取り組みの一環として、希望する役職員全員へウェアラブルデバイスを貸与しています。貸与したウェアラブルデバイスを利用したウォーキングイベントを、琉球銀行健康保険組合と定期的に共同開催するなど、役職員の健康管理・健康保持に積極的に取り組んでいます。

■ 地球環境保護のための具体的な行動



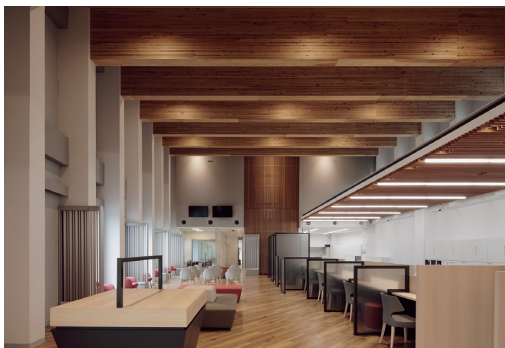
本部支店にて「Nearly ZEB」を実現

沖縄県の金融機関初となる「Nearly ZEB」の認定を受けていた本部支店では、2020年度の同店の年間エネルギー消費量を基準建物に対して75.5%削減し、「Nearly ZEB」に該当する店舗であることが検証されました。

「ZEB」とは、ゼロ・エネルギー・ビルディングのことをいいます。エネルギー消費量の削減率に応じ、基準建物に対し年間エネルギー消費量を100%以上削減したものを「ZEB」、75%以上を「Nearly ZEB」、50%以上を「ZEB Ready」、40%以上を「ZEB Oriented」と4段階に区分しています。

「Nearly ZEB」を実現した本部支店での具体的な取り組み

1. 放射式冷房システムおよび全熱交換機の導入による空調負荷の低減
2. LED照明や人感センサーなどによる消費エネルギーの削減
3. デマンド監視装置による契約電力の制御
4. 太陽光発電設備（20kW）の導入



グリーンボンド債の購入

琉球銀行はESG（環境・社会・企業統治）投資の一環として、地球温暖化対策や再生可能エネルギーなど、環境保全に取り組む資金を調達するために発行されるグリーンボンド債に投資を行っています。今後も地球環境の保護が重要との認識のもと、地球温暖化の抑止や自然環境・生態系保護のための活動を積極的に取り組んでいきます。